

年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	議会運営事業	会計名称	一般会計		担当課	議会事務局		
		予算科目	1 款 1 項 1 目	事業番号	10	所属長名	藤本直紀	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	西山安幸		
法令根拠等	地方自治法				実施期間	【開始】	令和／平成 17 年度	
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造					【終了】	令和	年度(予定)
	効率的で透明性の高い行財政運営							☒ 設定なし
総合計画における本事業の役割	市民に開かれた議会運営を展開する。							
事業の対象	市民・議員		事業の目的	開かれた議会運営を適正に行う。				
事業の内容（整備内容）	定例会・臨時会・常任委員会・議会運営委員会の開催、議会全員協議会・議会改革特別委員会・議会広報調査特別委員会・図書館・文化ホール等建設特別委員会・地方創生特別委員会・決算審査特別委員会の開催、行政視察実施、行政視察受入、議員研修実施、議会広報紙の発行、政務活動費・議長交際費の執行を行う。		評価事業としないこととした理由	議会運営事業費については、議員報酬・会議録作成業務委託料・各議長会（国・四国・県・中予）の固定化された経費が多く議会事務局の裁量の余地がないため、評価になじまないと判断し、評価対象外とした。				

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1年度予定	9月末の実績	1年度実績
財源内訳	直接事業費	132,597	134,707	341	0	0	131,880	定例会の開催	回	4	4	2	4
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	0	0	0	0	0	0	臨時会の開催	回	4	4	2	3
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	50	0	0	0	50						
一般財源		132,597	134,657	341	0	0	131,830	一般質問延べ人数	人	29	24	13	31
職員の人工（にんく）数		4.00	4.00				4.00						
1人当たりの人件費単価		7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費＋人件費		164,525	166,675				163,848	請願・陳情受理件数	件	2	2	3	6
主な実施主体		直接実施（市議会議員19名を含む）	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		毎年、政務活動費として10,000円／月×12月（上限120,000円）×19人＝2,280,000円補助								
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	5年間の合計		
						134,200	134,200	134,200	134,200	134,200	671,000		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	議会運営に必要な経費として、適正な執行を行った。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	議会運営に必要な経費である。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	